

## 平成 27 年第 12 回定例会一般質問通告書

通告 1 番 村岡賢一 議員  
質問方式 一問一答  
質問事項 圃場整備について問う  
質問相手 町長  
質問の要旨 1 戸倉地区（在郷）、歌津地区（田表）の農地の整備において、農地として適さない土地があるが対策は。  
2 営農を目ざして来た農家への今後の対応は。

通告 2 番 後藤伸太郎 議員  
質問方式 一問一答  
1 件目  
質問事項 積極的なスポーツ振興を  
質問相手 町長、教育長  
質問の要旨 教育を受ける子どもたちだけでなく、町民の健康増進のためにもスポーツ振興は欠かせない。震災の影響で施策として後回しになっていると感じられる中、イベントの復活やハードの整備も含め、積極的に進めるべきと思うが、町長、教育長の考えを伺う。

2 件目  
質問事項 バイオマス産業都市構想の今後の展望は  
質問相手 町長  
質問の要旨 町民の協力を得てバイオガス事業が動き出し、各種認証制度の取得といった、環境に責任を持つ意識が高まりつつあるが、まだまだ町民に広く浸透しているとは言い難い。今後、どのような施策を展開していくのか。

通告 3 番 佐藤宣明 議員  
質問方式 一問一答  
1 件目  
質問事項 町内行政区の再編の考え方は  
質問相手 町長  
質問の要旨 震災により我が町の市街地と高台以外の集落はほとんどが、壊滅流失してしまい、同時にこれまで長い歴史の中で培われてきた、地域コミュニティも崩壊してしまいました。  
被災住民は、自立再建、防集団地への移転、災害公営住宅への入居等それぞれの選択肢の中で再生への道を歩んでおります。

平成 28 年度末には、全ての防集団地、災害公営住宅の完成が予定されており、行政区の再編が喫緊の課題と思われる。

- 1 行政区の再編にあたっての基本的な考え方と決定までのプロセスは。
- 2 防集団地への移転者と災害公営住宅への入居者の区割は。
- 3 被災を免れた既存集落と防集団地を結ぶ道路整備が必要と思うが。

## 2 件目

質問事項 各種復旧復興事業の展開をどう検証評価しているか

質問相手 町長

質問の要旨 平成 23 年度から 5 年間でスパンとした、政府の集中復興期間が本年度で終了する。

10 年間の震災復興計画を基本に、政府による 5 省 40 事業に亘る交付金事業の支援を受けながら、各種復旧復興事業を、これまで展開してきたが、1 つの区切りとして、どのように検証評価しているか伺う。

- 1 各種復旧復興事業の進捗状況をどう検証評価しているか。
- 2 今後の交付金事業の展開と、復興財源の見通しは。
- 3 残された課題、問題点は何か。

通告 4 番 菅原辰雄 議員

質問方式 一問一答

## 1 件目

質問事項 公共交通について

質問相手 町長

質問の要旨 町では公共交通手段として、町民バスを運行しており年間を通し多くの町民に利用されている。しかし、それを利用出来ない人も数多くいるものと考えられる。それらの現状をどう捉え、どう対応していくのか伺う。

## 2 件目

質問事項 地方創生への考えと取り組みについて

質問相手 町長

質問の要旨 地方創生は、平成 27 年度に計画策定するものである、として職員間で英知を出し合い、よりよい南三陸町を創っていくとしていたが、現時点での考えを伺う。

通告 5 番 今野雄紀 議員

質問方式 一問一答

## 1 件目

質問事項 簡易的な指定管理制度の導入を  
質問相手 町長  
質問の要旨 町の小さな公園や小規模な施設などの美化を目的とした管理、保全を、地域の方たちの協力を得て可能にするシステムを構築できないか。主に、高齢者の方たちの生きがいつくりの一環として。

2 件目

質問事項 町民の足の確保について  
質問相手 町長  
質問の要旨 1 今後の町民バス等の運営について伺う。  
2 バスの運賃負担の低減への取り組みについて伺う。  
3 新たなバス路線は、どのようなスタイルになるのか伺う。  
4 B R Tを活用した路線計画はできないか伺う。

3 件目

質問事項 職員の服務規程について  
質問相手 町長  
質問の要旨 1 新庁舎の完成にむけて移転へむけての準備、取り組みについて伺う。  
2 職員の制服等の規定について、職員と臨時職員等の明確な区別化について伺う。

通告 6 番 及川幸子 議員  
質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 これからの介護ニーズの状況把握を早急に  
質問相手 町長  
質問の要旨 居宅介護支援事業を、昨年度で廃止したが、今後高齢人口が増えていく現状にどの様に対応していくのか伺う。

2 件目

質問事項 J R 気仙沼線を活用した観光振興策は  
質問相手 町長  
質問の要旨 復興後の観光振興を考えると、J R 気仙沼線が必要不可欠である。町長はB R Tに決定したが、今後、町が発展していくためにも、観光振興策をどう考えるか。

通告 7 番 山内昇一 議員  
質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 町民の定住化促進に雇用対策の考えは  
質問相手 町長  
質問の要旨 町の高台移転事業が進み、町民の帰還時期が待たれる。これを機会に定住

化対策として、活力ある雇用の場の構築が必要不可欠です。Iターン・Uターン等の若者にも新生南三陸町の魅力を発信すべきでは。

2 件目

質問事項 避難路線等の整備進捗と計画は

質問相手 町長

質問の要旨 これまで補修工事を重ねた路線もあるが、発災から4年8カ月経過の中、復興関連等で交通事情も大きく変化し本格的整備が待たれるが、町道の避難路線等の計画や整備は。

3 件目

質問事項 本町史跡地等の名木保全対策は

質問相手 教育長

質問の要旨 近年の地球温暖化による環境の変化、マツクイ虫の被害や震災から免れた名木の現状と対策を伺う。